



虹のマーチ

2018.2
第39号

川越地区消防組合

全国一斉に春の火災予防運動が始まります

実施期間：3月1日（木）～3月7日（水）

住宅用火災警報器はあなたのヒーローです!

住宅用火災警報器は、あなたの命を守ります。10年たったら取り替えましょう。

定期的な作動確認しよう!
音が鳴らなかったら交換の合図だ!



紐を引っ張って
みよう!

ボタンを
押してみよう!



火災予防に努めましょう!

間もなく春の火災予防運動が始まります。冬から春に季節が移り変わっても、空気が乾燥しやすい季節には変わりなく、より一層の火災予防を心がけなければいけません。そこで、火災予防運動をきっかけにして、次の項目を確認してみましょう。

★住宅用火災警報器の作動状況を確認しましょう!

□点検用の「ヒモ」を引く、または「ボタン」を押してみよう。正常の場合は音が鳴ります。

※音が鳴らない場合は、交換の合図です。

□警報器にほこりや汚れがついていないか確認しましょう。

定期的な清掃をすることで誤作動を防ぎます。

□寝室や階段に警報器が設置してあるか確認しましょう。

★今一度、身のまわりを確認しましょう!

□コンロの周りに燃えやすいものは置いていませんか

□キッチンの換気扇に油が付着していませんか

□暖房器具の周りに燃えやすいものは置いていませんか

□コンセントやプラグに、ほこりなどがたまっていませんか

□コンセントは、たこ足配線になっていませんか

□家の周囲に燃えやすいものは置いていませんか

確認が終わったら□にチェックしましょう!

確認が終わったら□にチェックしましょう!

「春」と「秋」に実施している火災予防運動は、火災予防について見つめ直すための良い期間です。今一度身のまわりを確認し、火災予防に努めましょう。

みなさまの火災予防のご協力が一番大切です。

消防局予防課 TEL 222-0744



おしえて！ 消防設備のこと④



～人命を守り被害を最小限に抑えるために、【知って・使える】消防設備～

火災が発生した時、人命を守り、被害を最小限に抑えるために活用する設備を「消防設備」といいます。今回は、「誘導灯(誘導標識)」について説明します。誘導灯(誘導標識)は、火災が発生した時に建物内にいる人を速やかにかつ安全に避難させるために設置されているもので、避難口の位置や避難の方向を示しています。

誘導灯は火災等により断線や停電などになっても、自動的に非常電源に切り替わり点灯するので、暗闇のなかで避難する場合の目印になります。(※誘導標識に電源はありません)

☞ 誘導灯には、「避難口誘導灯」と「通路誘導灯」があります。

【避難口誘導灯】



緑地に白で表示されているのが、避難口誘導灯(誘導標識)です。扉の上、階段の上に設置されており、「避難口」を示しています。

【避難口誘導標識】



【通路誘導灯】



白地に緑で表示されているのが、通路誘導灯(誘導標識)です。廊下または通路に設置されており、「避難口の方向」を示しています。

【通路誘導標識】



「いざ。」という時には、「誘導灯(誘導標識)」を目印に落ちついて避難しましょう。ぜひ、覚えておいてくださいね！

火災から大切なのちを守るために

火災は初期の段階ですばやく消火することが大切ですが、炎が天井付近に達すると初期消火の限界を超えているので、消火活動よりも身の安全を第一に考え、避難することが大切です。避難する際に、最も怖いのは【炎】よりも【煙】です。

では、煙にはどのような危険性があるのでしょうか。

- ・見通しが悪くなり、恐怖を感じる。
- ・有毒ガス(二酸化炭素)を含んでいる。
- ・肺に入ると窒息する。
- ・熱い煙で呼吸器系の熱傷を起す。
- ・上昇する速度が速い。(1秒で5m以上)

火災の煙は、あっという間に襲い掛かってくる。人は危険を感じると、その恐怖から逃れようとパニックになり、次のような行動をとりやすくなると言われています。

- ・日常動線志向性…日ごろ使い慣れた通路を利用する。
- ・帰巢性…入ってきた経路を逆戻りする。
- ・追従性…とにかく大勢人が集まっている後へついていく。
- ・向光性…暗闇に対して恐怖感を抱くため、習性で明るい方向に向かっていく。

火災から大切なのちを守るためには、落ちついて行動することが大切です。外出先などで、万が一、火災にあつて煙に巻かれたり、地下街の停電時等で避難路が分からなくなったりした場合は、誘導灯・誘導標識を確認し、落ちついて避難口へ向かきましょう。

消防局予防課 TEL 222-0744

姿勢を低く！

口を抑えて！





平成29年度全国統一防火標語 火の用心 ことばを形に 習慣に



伝統的建造物群保存地区等の 防火指導実施

平成29年11月9日から15日までの秋季全国火災予防運動週間に合わせ、川越市都市計画部都市景観課の協力のもと、小江戸川越の顔として親しまれている札の辻から仲町にかけての蔵造りの町屋が立ち並ぶ伝統的建造物群保存地区の飲食店や物品販売店舗を対象とした防火指導及び消防活動対策調査を行いました。

当日は関係者のご理解とご協力により営業時間にも関わらず責任者の方々と火災予防について対話をしつつ消火器の設置状況や火災が発生した場合の消防活動スペースの確認を行うことが出来ました。

蔵造りの町屋が、防火建築として形成されるきっかけとなった「川越大火」が二度とないよう、引き続き商店街の方々とともに安心・安全のまちづくりに努めてまいります。

【川越大火】

明治26年(1893年)3月17日夜に発生し、町の全戸数の3315戸のうち1302戸を焼失した火災です。



川越北消防署消防課

TEL 226-7290



第6回警防活動技術指導訓練を 実施しました

平成29年10月26日から平成29年11月8日までの間、警防活動技術指導訓練を実施しました。

この訓練では、木造火災(一般住宅)、中高層火災(マンション、ビル)など、様々な状況を想定して消防活動訓練を行うほか、当消防局で導入している最新の資機材を適切に取り扱えるよう訓練します。

また、警防活動技術指導訓練を修了した隊員が、訓練で得た知識や技術を他の隊員に伝える事で、当消防局全体が向上することを目指しています。

建物の構造や材質の変化によって、災害は多様化し、消防活動に関する資機材や技術も日々進化しています。このような災害に対応出来る様、訓練内容の見直し、検討を重ね、住民皆さまの安心・安全を守るため、消防活動技術の向上に努めていきます。



【二段放水体系】

先頭のホースは、消火用の放水を行い、後ろのホースは隊員を炎や熱から守りながら、消火する戦術です。高温となった屋内に侵入する際などに使用します。



【ガンタイプノズル】

小型で軽量なため隊員の疲労を軽減できるほか、放水量を4段階に調整できるため、状況に合わせて最適な消火活動が可能です。

消防局警防課

TEL 222-5891



救急ワークステーションの 運用を開始します！



当消防局では、平成30年5月から、救急隊員の知識、技術力及び判断力の向上を図り、住民の皆さまに質の高い救急サービスを提供するため、埼玉医科大学総合医療センターと連携し、派遣型の救急ワークステーションの運用を開始します。救急ワークステーションの運用は、

平日の9時から17時までの間に行います。

派遣型救急ワークステーションとは、救急救命士を含む救急隊員と救急車を病院に派遣し、医師から実践的な技術の指導を受ける等の研修を行うことです。このことにより、救急隊員の知識、技術力及び判断力が向上し、救命率の向上及び後遺症の軽減につながります。

また、研修中に救急要請があった場合には、病院から救急出場し、必要に応じて、医師が救急車に同乗します。救急現場で直接指導を受けるほか、医師と救急隊との連携により、生命にかかわる重症事例において、いち早く処置を行うことができます。

救急ワークステーションの運用にご理解、ご協力をお願いします。



消防局救急課

TEL 222-0160

川越市消防団だより

第七号

地域防災トークショー

平成30年1月14日、川越モディで公益財団法人日本消防協会の消防応援団を務めている蝶野正洋氏のイベントが開催され、「地域防災トークショー」に参加しました。

トークショーでは、蝶野氏から力強く消防団が紹介され、栗原団長をはじめ消防団員が地域防災力の充実強化に関する取組や新しい仲間の募集など消防団の声を集まった多くの人々に伝えることができました。

また、来場した子供たちには子供用防火衣の着用体験や記念撮影の機会が設けられ、親子で楽しみながら火災予防について学ぶ良い機会となりました。



活躍する女性消防団員

埼玉県女性消防団員の日・県下一斉PR

平成29年11月には近隣の消防団22団と協力し、女性消防団員が女性消防団員の増員、消防団の活性化を図る目的で、「埼玉県女性消防団員の日・県下一斉PR」を入間市のショッピングセンターで行いました。DVDの映像を流しながら「消防団PRソング」を披露。曲に合わせて、団員紹介、救命・防災・火の用心などを訴えました。

また、以前より取組みを続けている災害弱者対策の一つとして日本語がわからない人に「火事です。いっしょに逃げましょう！」を色々な言語（英語、中国語、韓国語等）で呼びかけ、手話や目の不自由な方の誘導方法を観客と一緒に確認しました。



普通救命講習・防火防災教室

○普通救命講習

中学生から85歳の方まで参加をいただき、菅原町自治会で救命講習を行いました。受講された方々には繰り返し実習していただき、救急車が到着するまでの9分間に私たちができる「心肺蘇生とAED操作を勇気を出して行うこと」の大切さを伝えることができました。

○防火防災教室

菅間中・下自治会で防火教室を行いました。「自分の命は自分で守る」をテーマに寸劇を行い、子ども達の笑顔にやりがいを感じました。

現在は、高齢者を対象とした防火防災教室に向けて練習を重ねています。



女性消防団員は、女性ならではのソフトな面を活かした活動をしています。一緒に活動する仲間を募集しています。地域の安全安心のため、自分にできることから始めてみませんか。

地域防災・防犯フェア

平成29年7月2日、ウエスタ川越で行われた地域コミュニティを含めた防災・防犯等の意識啓発を目的とした「地域防災・防犯フェア」に参加しました。

地域の方々が満員の大ホールでは、音楽に合わせた消防団の紹介、寸劇による消防団員の活動紹介、また、交流広場では、子供用防火服体験コーナーで多くの家族に体験いただき、火災予防や防災の大切さを伝えることができました。また、多くの方々に消防団活動への理解を深めていただくよい機会となりました。



資機材の紹介

今回は、川越市消防団の各分団に配備されている様々な資機材を紹介いたします。

今後、発生が予想される大地震、近年の複雑多様化する災害に対処できるよう、平成24年から順次配備が進められて来たものです。

まず初めに平成24年に配備された『簡易救助資機材』です。

小型油圧ジャッキ、小型スコップ、万能斧、バールなどです。この資機材は地震で倒壊した家屋の柱等に挟まれた要救助者を助け出すために用います。平成28年に発生した熊本地震でも、同様の資機材を使用して、消防団員と住民の方々が協力し、倒壊した建物から救助したというニュースを目にした方もいらっしゃると思います。

次に、平成26年に配備された『チェーンソー』です。平成27年の台風の際に道路に倒れた倒木の伐採に使用しました。これ以外にも水防活動で使用する杭を作成



簡易救助資機材



エンジンカッター

するときにも使い、多岐にわたり使用できます。最後に、平成27年に配備された『エンジンカッター』です。これは主に金属の切断に使用され、シャッターやドアを開放するときに使います。

このように川越市消防団には、様々な資機材が導入されています。

これらの資機材を使用しないことが一番良いのですが、もし災害が発生したときにすぐに対応できるように訓練を重ねています。

《新入団員紹介》 女性団員 大野 亜弓 団員

私が消防団に入団したきっかけは、数年前に目の前で人が倒れたのを見ましたが、救急車を呼ぶことしかできませんでした。

近くに居た人が、すぐに心肺蘇生を実施していました。あの時、『私ひとりしか居なかったら・・・』と思った時にとても怖くなりました。

そんな時に消防署の普通救命講習を受講し、女性消防団の存在を知りました。

もし、自分の家族や周りにいる人が、目の前で倒れた時に、何かできることがあるならやりたい。私を育ててくれた川越のまちが、『安全・安心に暮らせるまち』になるよう尽力したいと思っています。



私たちと一緒に消防団で活動してみませんか？ HP もありますのでぜひご覧ください。
興味のある方は 連絡先：川越地区消防局 総務課 消防団担当 TEL：049-222-0741

川越市消防団

検索

川島町消防団だより

第七号

消防団長あいさつ



団長 小川敏晴

平成29年4月1日に川島町消防団長を拝命しました小川敏晴でございます。消防団長就任にあたり、ご挨拶をさせていただきます。

町民の皆様には、常日頃消防団の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜りまして厚く感謝申し上げます。

消防団は地域の安全、安心を守る使命達成のため日々、訓練や講習会などを行い技術、技能の向上に努めています。

町民の皆様方には、町や自主防災会の防災訓練、避難訓練などに積極的に参加いただきます様お願い申し上げます。

また、川島町消防団では、消防団員を募集しております。今こそ、「あなたの力を地域のために」、我々と町の安全、安心を守る活動を一緒にしませんか？

今後も災害に強い町づくりのため、消防団員一丸となり地域防災の要として努力してまいりますのでご支援、ご協力をお願い致します。

川島町総合防災訓練

平成29年9月3日、川島町総合運動場にて第32回川島町総合防災訓練が実施されました。

川島町消防団は、初期消火、応急救護、救出救助訓練のほか、総合防災訓練の締めくくりとなる一斉放水を実施しました。

また、今回の総合防災訓練では、ドローンの飛行も行われました。ドローンにより、建物屋上で助けを求めている人を上空から撮影し、地上のテレビ画面で状況確認するという形で活用されました。

川島町消防団では、今後も住民及び防災機関と一体となって、災害対応力の強化、防災意識の高揚に努めてまいります。



消防団一斉放水

水防訓練

川島町は、周囲を一級河川に囲まれており、河川の増水時には、堤防の警戒等を実施しています。

川島町消防団は水防団としても活動しており、平成29年5月28日、水防団の士気を鼓舞し、作業能率の向上のため、また、水防体制の整備に資するとともに、住民の水防に対する協力と理解を求めるとして、大字釘無地先の堤防で水防訓練を実施しました。

木流し、積土のう、竹とげ、杭ごしらえ等の水防工法を行い、作業能率の向上を図りました。

川島町水防団は、今後も住民の皆様方の安全、安心のために水防工法の習得に努めてまいります。



木流し



積土のう

活躍する女性消防団員

平成29年11月16日、「第23回全国女性消防団員活性化広島大会」が広島市で開催されました。

これは、全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動やその成果を紹介し、意見交換を通じ連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的としたものです。

今回、他県の女性消防団員の活動発表等を聞くことができ大変有意義な大会でした。今後も女性消防団員の活性化に努めていきたいと思ひます。



左：小川団長
中央：丹下団員
右：星野団員

平成29年11月4日、「埼玉県女性消防団員の日」県下一斉PRとして、女性消防団員の増加、消防団の更なる活性化及び地域防災力の向上を図るため入間市内の商業施設にて活動発表を実施しました。

川島町消防団は、紙芝居、パネルシアターを実施し、地域の皆様に防火の重要性を伝えることができました。今後も団員同士協力し防火啓発を実施していきたいと思ひます。



消防団員募集中!

地域の防災に
あなたのチカラを
かしてください。



ボウリング大会終了後の集合写真

ボウリング大会

川島町消防団は、各分団の団員同士が交流を深め、災害時における活動をより円滑なものにするために、平成29年11月19日、北本市内のボウリング場にて、第4回川島町消防団ボウリング大会を行いました。

消防署、団本部、各分団合わせて52名が参加し、個人戦と団体戦が実施され、団体戦では、第6分団が見事に優勝を果たしました。

～団員紹介～

第6分団 町田茂樹(平成21年4月1日入団)

結婚を機に妻の実家のある川島町に引っ越してきました。消防団への入団の誘いがあり、現在、第6分団の団員として活動しています。昨年は、初めて消防操法大会に選手として参加し、2位という結果を残せました。消防団に入団し、良い仲間もできました。これからも地域住民の安全、安心を守っていききたいと思います。



第1分団 丸山昌幸(平成29年4月1日入団)

長年、地元で働いており、地域貢献ができないかと考え消防団に入団しました。入団後、消防団が地域住民のために献身的な活動をしていることを知り、感謝の思いと同時に、自分もこの役目を果たしていきたいという思いが強くなりました。今後は、消防活動を通じ地域貢献ができればと考えております。



歳入

負担金（消防行政を運営するのに必要な負担金（組合を構成する川越市・川島町からの負担金）	4,720,704,849 円 (94.0%)
使用料及び手数料（消防関係検査等の手数料等）	6,454,237 円 (0.1%)
財産収入（基金運用の利息等）	882,044 円 (0.0%)
繰越金（前年度から持ち越されたお金のこと）	106,095,577 円 (2.1%)
諸収入（受託収入等の他の収入科目に含まれないもの）	18,387,010 円 (0.4%)
組合債（金融機関等からの借入金）	131,400,000 円 (2.6%)
国庫支出金（一定の事業に使いみちを特定して国から交付されるもの）	37,199,000 円 (0.7%)
歳入合計	5,021,122,717 円 (100%)

歳出

議会費（議員報酬等の議会運営費）	5,969,213 円 (0.1%)
総務費（組合管理者・公平委員・監査委員等の特別職の報酬等の経費）	3,777,444 円 (0.1%)
消防費（消防・救急等に必要な経費及び消防施設の建設費等）	4,554,637,198 円 (93.0%)
公債費（借入金の元金、利子の返済のための経費）	333,268,961 円 (6.8%)
予備費（予見することのできない歳出予算の不足に備えて計上される費用）	0 円 (0.0%)
歳出合計	4,897,652,816 円 (100%)

*比率(%)の合計は、端数処理の関係で100%とならない場合があります。「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものです。

消防局予防課 TEL222-0744

- ① 展示期間
平成30年3月1日(木)～7日(水)
- ② 展示場所
(1) 川越会場(川越市内の幼年消防クラブの絵画を展示)
川越市大字鯨井1216番地
なぐわし公園 P.I.K.O.A内(パーク
アベニュー壁面展示スペース)
- (2) 川島会場(川島町内の幼年消防クラブの絵画を展示)
川島町下八ッ林870番地1
川島町役場 防災展望室



春の全国火災予防運動に合わせて、幼年消防クラブ絵画展を開催します。子どもたちの描いた消防車両等の絵画を展示します。ぜひ、ご来場ください

幼年消防クラブ絵画展のご案内

ありがとうございます

◎消防活動の協力に対し、消防局長から感謝状が贈られました。
○消火活動に貢献

- ・川越市大字山田 安齊 明子さん
- ・川越市大字山田 安齊 弘二さん
- ・川越市大字山田 永井 早苗さん

消防局総務課 TEL222-0741

虹色通信

火を消さない消防隊？指揮隊ってなに？

みなさんは、サイレンを鳴らして火災などの災害現場に向かう消防車の中に赤いワゴン車が走っているのを見たことがありますか？
その車は「指揮車(しきしゃ)」と呼ばれていて、災害現場で活動するときにリーダーとなる指揮隊が乗っています。

指揮隊の仕事は、その名のとおり災害現場で部隊を指揮するための様々な情報を集め、作戦を決めて、消防隊などに命令や指示をすることです。

- ・情報担当 災害現場で情報を集めて整理をする。
- ・通信担当 無線機や画像伝送装置を使い消防指令センターへ災害の状況を伝える。

このような指揮隊は「火を消さない消防隊」とも呼ばれていますが、その最大の目的は、消防部隊を指揮して、活動している隊員や消防車、そして無線機などを効率的に使用して、人命を安全、確実、迅速に助け出すことです。



消防局指揮統制課 TEL222-0700



消防だより
虹のマーチ

2018.2
第39号

発行/川越地区消防局 総務課
〒350-0823 川越市神明町48-4 TEL049-222-0741
<http://www.119kawagoechiku.jp/>

Fontworks
UDFont

火事・救急・救助は119番 災害情報テレフォンサービス TEL0180-994-310 *かけまちがいにご注意ください。